

1. 戦略的交通基盤整備の重要性 ..... 田中 喜行
  2. 地理情報システムを用いた和歌山市の幹線交通網構築への一提案 ..... 藤田 和史
  3. トラム導入による観光都市「和歌山」への変貌 ..... 中平 匡俊
  4. 歩行環境のバリアフリー化 ..... 山本 敦子
  5. 和歌山市における LRT・BRT 導入の費用対効果分析実施案 ..... 辻本 勝久
- 第 2 部 公共交通幹線とソフト施策
6. 岐阜市のバスを中心とした交通まちづくり ..... 汲田 康太
  7. 交通系 IC カードとまち活性化 ..... 畑山 善生

## 平成 24 年度事業

### ■ 研究事業

#### ● 和歌山市まちづくり戦略研究

(平成 23 年度より継続、研究概要は P12 を参照)

##### 【メンバー】

代表	木下 雅夫	(財)和歌山社会経済研究所常務理事
	大門 忠志	(財)和歌山社会経済研究所研究部長
	高田 朋男	(財)和歌山社会経済研究所研究部長
	中平 匡俊	(財)和歌山社会経済研究所主任研究員
	高木 啓江	(財)和歌山社会経済研究所主任研究員
	大泉 英次	和歌山大学経済学部教授
	足立 基浩	和歌山大学経済学部教授
	鈴木 裕範	和歌山大学経済学部教授
	中島 正博	和歌山大学経済学部准教授
	大井 達雄	和歌山大学観光学部准教授
	山本 敦子	和歌山大学経済学部助教
	中谷 正隆	和歌山商工会議所企業支援部企画・街づくり支援室主任

#### ● 和歌山市のまちづくり戦略と都市間交通網に関する研究

##### 【研究趣旨と目的】

和歌山市では、紀ノ川北岸に和歌山北インターチェンジができ、京奈和自動車や第二阪和国道の開通も予定されているなど、高規格道路網が発達してきており、域外からの観光需要等の獲得や、高速バス路線網の発達等が期待される一方で、買い物客等の他地域への流出傾向がさらに強まる懸念もある。

また、和歌山市には南海本線、JR 阪和線、JR 紀勢本線、JR 和歌山線等の都市間鉄道路線や、四国を結ぶ南海フェリーがあり、大きな社会的役割を果たしている。とりわけ JR 和歌山駅等の主要駅とその周辺の都市機能集積には、コンパクトなまちの中心核としての役割や、観光軸などのハブとしての機能、大阪に流出しようとする県内買い物客をせき止める機能等が期待できる。一方で鉄道・フェリーの利用者数は減少傾向にあり、鉄道の所要時間が延びる傾向にあるなどの問題も抱えている。

さらに、泉州沖には 24 時間オープンの関西空港があつて、LCC 拠点化等の新たな展開がなされており、これを活用したインバウンド旅客の獲得等の地域戦略が期待される。

このように和歌山市を取り巻く都市間交通網に様々な変容が見られ、期待と懸念が交錯する中、本研究では「和歌山市まちづくり戦略研究会」での議論を踏まえつつ、あるべき和歌山市の実現に向けた都市間交通網の活用方策や改善方策について考えたい。

研究期間は 3 年間である。1 年目には鉄道・フェリー網、2 年目には航空網、3 年目には高規格道路網を扱う予定であるが、この順番については研究会の中で決めていきたい。鉄道・フェリー、航空、道路の研究を同時並行で進めることもあり得る。

#### 【メンバー】

代表	辻本 勝久	和歌山大学経済学部教授
	藤田 和史	和歌山大学経済学部講師
	廣岡 裕一	和歌山大学観光学部教授
	山本 敦子	和歌山大学経済学部助教
	木下 雅夫	(財)和歌山社会経済研究所常務理事
	大門 忠志	(財)和歌山社会経済研究所研究部長
	畑山 善生	(財)和歌山社会経済研究所研究部長
	中平 匡俊	(財)和歌山社会経済研究所主任研究員
	山下 光之助	(財)和歌山社会経済研究所主任研究員
	青木 勇次	和歌山商工会議所企業支援部企画・街づくり支援室主任

#### ■ 刊行物

- 機関誌「地域経済」
- 報告書

#### ■ ホームページによる広報

平成 24 年 5 月にホームページをリニューアルしました。

URL: <http://www.eco.wakayama-u.ac.jp/wtkkk/>

## 【リニューアルホームページイメージ】



## 理事メンバー

(平成 24 年 7 月 1 日現在)

## 【和歌山地域経済研究機構理事】

理事長	遠藤 史	和歌山大学経済学部教授	経済学部長
副理事長	山田 良治	和歌山大学観光学部教授	観光学部長
理事	岡本 賢司	和歌山商工会議所	専務理事
	北田 佳秀	(財)和歌山社会経済研究所	副理事長
	木下 雅夫	(財)和歌山社会経済研究所	常務理事
	石橋 貞男	和歌山大学経済学部教授	
	鈴木 裕範	和歌山大学経済学部教授	